



伝えるということ

教務主幹 下野 剛

最近読んだ本に「意味」と「意図」について書かれてある文章があり、ふと普段の自分の言葉の使い方について振り返ってみました。

例えば、国語の授業で教科書の読み取りを行う場面を想定すると、

「この文はどういう意味でしょうか。」

「この文の意図はなんですか。」

どちらも、あまり深く考えずに、なんとなく同じような意味で使ってしまったことに気付きました。

二つの言葉の意味を確かめてみようと、子どもたちが使っている辞書を借りて引いてみると次のように書いてありました。

意味・・・ことばや文などが表しているもの
ものごとの裏にあるわけや考え

意図・・・(あることをしようとする) 考え

こうして見ると伝わるという視点で、話し手側の力が問われる「意味」に対して、「意図」は聞き手側の力が問われるように感じます。

私たちが言葉を発する時の多くは、なんらかの意図をもって発信しています。その意図を理解してもらえると、うれしい気持ちになりますし、逆に上手く伝わらないと不機嫌になってしまうこともあります。

反対に言葉を受け取る側からすると、言葉の意味は分かっても、必ずしも話し手の意図が伝わるかどうかはわかりません。上手く意図を汲み取ることができれば、空気の読める人、物わりの良い人になるのですが、それができないと相手との心理的距離感も感じてしまうこともあるかもしれません。

改めて、授業を行っている時や、子どもに話している時に、きちんと意味が伝わるように話しているか、乱暴に意図を押し付けていたり、上手に意図を汲み取ってくれる子どもに甘えていたりしないかということを考えることが大切だと感じました。我々教師は、子どもの前に立つ大人として、強引に意図を汲み取らせるのではなく、分かりやすく意味を伝えられる話し手の見本になることを心がけていきたいと思えます。

日	曜	主な行事予定
1	月	安全指導 委員会（関係児童以外5時間授業）
2	火	避難訓練 煙体験（4年）
3	水	文化の日
4	木	
5	金	放課GO
8	月	クラブ
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	放課GO
15	月	5時間授業
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	展覧会児童鑑賞日 新一年生学校説明会
20	土	展覧会保護者鑑賞日（学校公開）
22	月	振替休業日
23	火	勤労感謝の日
24	水	
25	木	
26	金	放課GO
29	月	クラブ（4年生以上6時間授業）
30	火	

生活目標

「思いやりや感謝の気持ちをもって生活しましょう」

